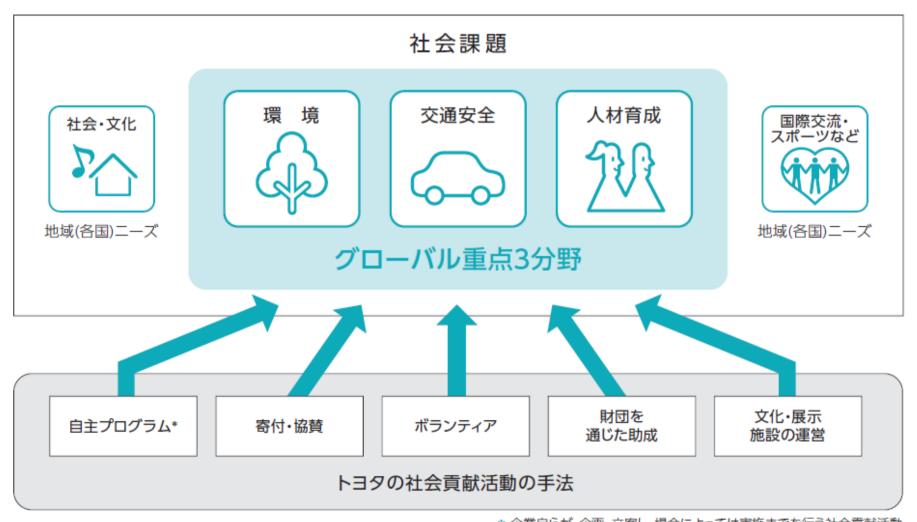
トヨタの社会貢献活動 人材育成への取り組み

2016.3.7 トヨタ自動車株式会社 知的財産部

社会貢献活動の基本的な考え方

- 豊かな社会の実現とその持続的発展のため取り組む
- 「環境」「交通安全」「人材育成」が重点領域



様々な年齢層への発明・モノづくり奨励活動

トヨタの理念「モノづくりは人づくりから」を受け、 次世代を担う人材の育成に向け支援。

小学生	中学生	高校生	大学生
科学のびっくり箱 なぜなにレクチャー	職業体験プログラム	女性エンジュアキャリア紹介・基金肝、広報誌	
(トヨタ技術会) 工場見学 小学校社会科見学		高校出前講座	奨学支援プログラム
トヨタ原体験プログラム			
週末ワークショップ/テクノランド			

活動事例:科学のびつくり箱 なぜなにレクチャー※小学生

・小学生を対象に、1996年より 科学のびっくり箱(なぜなにレクチャー)を実施 全国の科学館・博物館、社内関連施設・事業体と連携。 講師は弊社技術者(OBも参加)。19年間約3万人参加 「モノづくりの大切さ」「科学の楽しさ」を伝承。



二足歩行型ロボットデモ



電力回生自動車

活動事例:トヨタ原体験プログラム (出張授業)※小学高学年

・バーチャルでなく実際に五感を刺激するような クルマのワクワク・ドキドキする体験を展開。 2015年までで1900校、3万人以上の児童に実施。

①クルマの体験学習 (小学4年)



空気エンジン車 模型を使った 制御実験



実エンジンの 凄さを体感。 音も凄い!

②クルマまるわかり教室(小学5年)



車の基礎知識 教室。 質問もたくさん



会社経営ゲーム 環境を考えて 経営できたかな

活動事例:職業体験プログラム ※中学生対象

子供たちに将来の職業や働く意義について考える機会を 提供(キャリア教育)。

鋳造や樹脂成型などの生産技術を体験。





生産技術 鋳造

生産技術 真空成型

活動事例: 高校出前講座 ※高校生

理系人材の発掘。文理選択前及び理系選択後の高校生に対して、社内技術者が講師となりモノづくりの実際や理系企業の面白さなどを講演。



本年度 愛知県内25校、約4500名の高校生に対して実施

発明・モノづくり人材育成への提言

<課題>

- ①カリキュラムへの組込みハードルが高い
- ②地方自治体の窓口が不明
- ③講師不足

く提言>

- ①カリキュラム化を促進するコーディネーターの登用
- ②発明モノづくり窓口の明確化
- ③人材育成には、企業経験が豊富なOBの活用が有効 国として企業OB活用施策を進めてほしい